

地域ケア会議の位置づけについて

○地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法のひとつ

○岡山市では、地域ケア会議を4つの会議に分類

全市

① 地域ケア推進会議

個別課題
解決機能

ネットワーク
構築機能

地域課題
発見機能

地域づくり・
資源開発機能

政策形成
機能

目的：地域ケア連携会議で集約された地域課題等について庁内で検討し、政策形成につなげる
頻度：年に1回
参加者：保健福祉局各部署+地域づくりに携わる関係部局

6
福祉区

② 地域ケア連携会議

個別課題
解決機能

ネットワーク
構築機能

地域課題
発見機能

地域づくり・
資源開発機能

政策形成
機能

目的：地域ケア個別会議や小地域ケア会議で把握された地域課題の共有化、地域でのネットワークづくり、地域づくりに向けた検討
頻度：年に1回
参加者：関係部署、町内会、民生委員・児童委員、公民館、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、介護保険関係事業所等

個別
ケース

④ 地域ケア個別会議

個別課題
解決機能

ネットワーク
構築機能

地域課題
発見機能

地域づくり・
資源開発機能

政策形成
機能

目的：要支援者・事業対象者の状態改善、ケアマネジメントの質の向上を目指し、専門多職種
の視点を含めて検討を行う
頻度：月1回（各センター単位）
参加者：事例提供者、作業療法士・理学療法士・歯科衛生士（介護予防センター）
管理栄養士、薬剤師、介護支援専門員、市、地域包括支援センター等

小学校区

③ 小地域ケア会議

個別
課題
解決

ネット
ワーク
構築

地域
課題
発見

地域づく
り・資源
開発

政策
形成

目的：地域の特性に応じて、住民が
主体となり、地域資源の把握
や地域課題の共有、地域活動
団体との連携等を行う。
参加者：安全・安心ネットワーク等
地域活動団体、関係部署、
地域包括支援センター、在
宅介護支援センター、社会
福祉協議会等